

研究課題名	IgA 腎症と ADPKD(常染色体顕性多発性嚢胞腎)の全国疫学調査(2022 年)
研究の意義・目的	IgA 腎症と ADPKD はいずれも末期腎不全になる可能性のある腎臓病です。しかし日本において、患者数がどれくらいかという調査はそれぞれ 2011 年、1994 年に行われたものであり、以前の結果をもとに、診療・研究が行われているという課題があります。 本研究は IgA 腎症と ADPKD の最新の推計患者数を明らかにすることが目的です。本研究は、両疾患の臨床医学や保健政策などへの貢献が期待でき、意義があると考えます。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～ 2027年12月31日
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	全国病院リストで「内科」「小児科」「腎臓内科」「泌尿器科」を標榜している医療機関のうち、病床規模別に層別化無作為抽出した約 2500 の医療機関が対象です。 2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日の間に、上記の医療機関を受診された IgA 腎症と ADPKD の男女別の人数を調査します。 なお、2022 年中に新たに腎移植を受けられた方と 2022 年 12 月末の時点で透析を受けておられる方は回答から外れます。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情報 等の項目	診療の過程で得られた「診断名 (IgA 腎症/ADPKD)」と「性別」を本研究に使用させていただきます。 IgA 腎症:2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31日の間において、腎生検・口蓋扁桃摘出術・副腎皮質ステロイド治療に関して、いずれかの治療の有無も調査させていただきます。 ADPKD:2022 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日の間において、新たに腎代替療法(血液透析・腹膜透析・腎移植)に至ったかを調査させていただきます。 調査は各医療機関に郵送で行い、回答は Google フォームで受領します。
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	機関名:公立大学法人大阪 大阪公立大学 機関の長の氏名:理事長 辰巳砂 昌弘
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた「診断名 (IgA 腎症/ADPKD)」と「性別」を本研究のためにご提供ください。
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	【研究代表者】 順天堂大学 腎臓内科学 教授 鈴木 祐介 (厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患政策研究事業 難治性腎障害に関する調査研究 疾患登録・調査研究分科会 IgA腎症WG代表) 順天堂大学医学部練馬病院 泌尿器外科学 教授 武藤 智 (厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患政策研究事業 難治性腎障害に関する調査研究 疾患登録・調査研究分科会 多発性嚢胞腎WG代表)
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の	以下の機関が御提供いただいた情報を本研究に利用いたします。 【研究代表者】 順天堂大学 腎臓内科学 教授 鈴木 祐介 (IgA腎症WG代表) 順天堂大学医学部練馬病院 泌尿器外科学 教授 武藤 智 (多発性嚢胞腎WG代表)

<p>研究機関の名称</p>	<p>【研究分担者】 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 公衆衛生学 教授 福島 若葉 同 准教授 大藤 さとこ</p> <p>【研究事務局】 北里大学 医学部 公衆衛生学 講師 松崎 慶一(IgA腎症WG) 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 講師 仲谷 慎也(多発性嚢胞腎WG)</p>
<p>本研究の 利益相反</p>	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>研究に協力を したくない場合</p>	<p>情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
<p>連絡先</p>	<p>大阪公立大学医学部附属病院 腎臓内科 担当者氏名:仲谷 慎也 電話番号: (06)6645-3806</p>